

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」姫路校			
○保護者評価実施期間	2024年11月21日		～	2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2024年11月21日		～	2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児発イベント実施	季節を取り入れたイベントや他校舎とZOOMなどでつなぎ、交流できる場を設けている。	今後も職員間でイベント内容を企画し、実行後に見直し継続していきたい。
2	家族支援	普段からFB時に保護者様から情報共有を行って頂く中で、保護者様のサポートが必要と感じた際のお声がけや、保護者様からご希望があった場合も実施している。横のつながりを持つ場として月一回事前に告知し開催や、利用者の時間帯に開催するなど参加しやすい時間を工夫している。	今後も普段からFBの時間を大事にし、利用児だけでなく保護者様のサポートも引き続き行っていきたい。
3	関係機関連携	保護者様や園からの要望に応じて訪問させて頂き、情報共有をする事で支援や保護者様へのFBに活かしている。	今後も必要に応じて園等の関係機関で連携していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団イベントが少ない。	全体的なイベントの内容で小集団を想定していなかった。	来年度実施できるように計画している。
2	きょうだい児の家族支援を実施したことがない。	利用児と保護者様へのサポートは意識していたが、きょうだい児へのサポートは考案できていなかった。	来年度実施できるように計画していきたい。
3	児発が室内でも思いっきり体を動かすスペースが少ない。	パーティションなどでスペースを区切り使用している。	公園やパーティションなどの区切りを動かしてスペースを確保していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」姫路校

公表日 2024年 12月 28日

利用児童数 16名

回収数 16

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			活動を行うのに適切なスペースを確保していると思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16				個別で対応して頂き、助かっている。職員の数は多い方だと思う。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				子どもが自分で片付け出来る高さなので分かりやすいと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				きれいに保たれている。適切なスペースになっている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				こちらの思いもちゃんと聞いて、支援計画を作成されていると思う。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				毎回様々なプログラムになっている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	3	1	2	他の教室の子たちとやりとりすることがある。	地域イベントをピックアップし、出来る限りで参加できるイベントに参加する事を検討する。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				ありました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				ありました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14		1	1		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1			毎回職員と話すことがある。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		1		行われている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	1	2	参加は出来ていないが開催されている。	イベントやママカフェ等で利用児と保護者様へのイベントは実施しているが、きょうだい向けのイベントは実施していなかったため今後検討していきたい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		1		相談しても、ちゃんと対応して下さっています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			毎回話す時間がある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		2	イベントのブログなどアップされている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1		1	ブログなど顔が出ないようにちゃんと隠してある。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1			説明されました。	月一回防災・避難訓練を行っている。再度周知と利用者参加の避難訓練を企画し実施していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		1	行っています。	月一回防災・避難訓練を行っているが、再度周知と利用者参加の避難訓練を企画し実施していきたい。再度周知と利用者参加の避難訓練を企画し実施していきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	今のところケガ等はないが説明はされていると思う。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			親と離れて活動が出来るので安心して通所出来ている。	利用児が安心して過ごせるように努めていきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1		1	「明日はきらり？」と聞いたりしていて、とても楽しみにしています。毎回楽しみにしている。	利用児が楽しんで過ごせるように努めていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			自転車から降りてエレベーターまで自分で行けておらず抱っこになる。(慣れない場所となる)	少しでも利用児に慣れてもらえる様に支援していきたい。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」姫路校	公表日	2024年 12月 28日
------	-------------------	-----	---------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		パーティションで区切って環境調整を行うようにしている。	運動できるスペースが必要な場合は公園を使うなど工夫する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3		エレベーターに行くまでに段差がある。入口に利用スペースの配置図を提示し、当日利用ブースを確認出来る様に工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			人数が複数の時に、1人当たりのスペースが狭い時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表を集め、校舎内会議を行っている。	回収ボックスに入れることで職員の間を介さず、忸度がない本音の評価をもとめる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者評価は行っていない。行われているか理解できていない。	職員間の認識を統一する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		H P での公表は準備中。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		計画更新の都度、アセスメントを実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援会議を実施し、各職員の意見を計画作成に取り組んでいる。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		NCプログラムを実施している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4		状況に応じて情報共有を行い、活動プログラムを考えている。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			個別支援を基本とし、月1回程度集団イベント活動を実施、提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4		全員で朝礼を行っている。	支援の内容や役割分担を朝礼等で行う事でチームとして支援を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		職員同士や管理者等に伝達している。 全員で終礼を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		関係機関連携から地域など関わる機会を設けている。	今後はより連携に力を入れていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		今年度は園連携に、より力を入れ情報共有と相互理解の機会を設けてきた。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		必要に応じて移行支援の会議を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		センターのPT職員に来所いただき、支援についてアドバイスをいただいた。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5			地域での交流は今年度行っていない。 来年度は地域で交流する機会を検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			毎回の支援後にFBを実施している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		ママカフェや相談会の機会を提供し、保護者様にご参加いただいた。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			契約時に説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		FBや家族支援の際に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	ママカフェや相談会の機会を提供した。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		HPやSNSを活用し、教室内の情報をお知らせをしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		来年度に向けて準備しているため、実施していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用開始時にアセスメントを実施し、把握している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食事の提供は行っていないため、今の所はない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		職員の情報共有と統一を行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				